



宮本和子 議員

新型コロナウイルスの 予防対策を

質問

新型コロナウイルスは秋・冬に向けて猛威を振り、ピーク時には1日当たり76万人が発症し、4万6千人が入院すると言われている。

新型コロナウイルスの感染拡大のピークに備えて、感染拡大と重症化を防ぐ対策が急いで求められている。

市としての対策と小中学校の対応は、ワクチンの対応は大丈夫か。行動計画の策定は。

総務部長

各公共施設入口に手指消毒用の消毒液を常備し、感染したときに他人にうつさないた

めに、手洗いとうがいの励行、また症状が出た方にマスクの着用、外出の自粛、せきエチケットなどの徹底の大切さを伝えていきたい。

教育部長

小・中学校の対応については、2学期の開始とともに新型コロナウイルスの急速な感染拡大が懸念され、学級閉鎖は、同一学級で欠席率が約10%となった場合となっている。休校は、学年を超えて感染拡大のおそれがある場合となった。

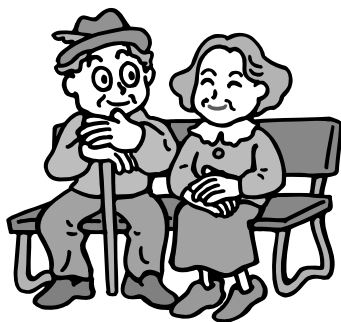
市民生活部長
ワクチンは国の方針の決定を待つ予定。

総務部長
行動計画は現在、今議会最終日に示せるように作業を進めている。

質問
メール配信の追っかけ機能つき連絡網というサービスがあるが考えは。今後学校など公共施設の水洗蛇口の自動化についての考えは。

学校教育課長
集団感染した場合の連絡網について、メール配信の登録がされていない家庭は、第1連絡者、第2連絡者、第3連絡者に電話連絡をしている。

市長
自動水洗蛇口は今後十二分に考慮していきたい。



高齢者のたまり場などへの 援助を

質問

4月から行われた新認定制度の目的が、介護費用の抑制を旨とした厚労省の内部文書を暴露した日本共産党の小池晃議員の国会での追及が決定打となり、10月から見直しが行われるがどのような見直しが行われるのか。

高齢者が地域で生き生きと生活するために、宅老所、街角サロンなど的高齢者のたまり場への援助は。

第2段階の人の減免制度を実現し、払える介護保険料にしては。

福祉部長

新基準の介護認定の見直しは、高齢者の心身の状況に関する調査74項目のうち43項目を見直し、従来の調査項目の基準に戻る。

ふれあいサロンは、現在JA愛知海部と協力し、閉じこもり予防、認知、うつなどの人は、愛西おでかけサロンを、市内の6カ所で月2回開催している。

必要に応じ、聞き取りをするのか相談していきたい。